

リリースバージョン	PicOS 2.1
リビジョン	12745
リリース日	2013年11月21日

【新機能と変更点】

■OpenFlow

1. QinQとvlan strippingのサポートを追加しました
2. ECMPグループテーブルのサポートを追加しました
3. ハイブリッド LAGのサポートを追加しました
4. ハイブリッド グループテーブル ECMPのサポートを追加しました
5. ARP flowがCPUの代わりにASICを通過するようになりました
6. GRE ポートの番号が109からに変更になりました(32個作成可能になります)
7. OVSモードでLoopbackのサポートを追加しました

■L2/L3

1. Multi-chassis Link Aggregation (mLAG) のサポートを追加しました
2. DHCP snoopingのサポートを追加しました
3. DHCP option-82 と ARP inspectionのサポートを追加しました
3. BDFのサポートを追加しました
4. UDLDのサポートを追加しました
5. L3 loopback インタフェースが使用できるようになりました
6. OSPF IPv6のサポートを追加しました
7. PIM SMのサポートを追加しました
8. Mac address テーブルの最適化を行いました

【システムプラットフォーム】

1. OVSモードでのFan速度調整ができるようになりました
2. PicOSがL2/L3モードとOVSモードのためのDaemonとしてサービス化しました
3. AAAにてRadiusのサポートを追加しました。
4. 'root'ユーザーを使用して/usr/sbin/picos_bootでPicOSの動作モードを選択可能としました

■修正されたバグ

1. ハイブリッドモードでの設定保存の問題が修正されました
2. 大量のルートのためのBGPを調整しました
3. OVSモードでデフォルトでvlanがすべてのポートに割り当てられます
4. OpenFlowのデフォルトがV1.3となりました
5. MPLS/PBB multi flowの同一ポート競合の問題
6. P3780/P3920/P3922のOVSモードにて IPv6 flowがIPv4トラフィックをブロックする

■既知の問題

1. スタティックMACにてMACの競合が起こることを防止するためチェック機能
2. ACL出力のルールの一部がCPU処理に適用される
3. OSPF/BGPをサマライズするためのパフォーマンス改善
4. VLAN設定がMSTPの時、PVSTにモードを変更すると動作しない
5. L2でのポートレートの制限が動作しない
6. ハイブリッドモードにて、L2テーブルのfdb flowが削除されない
7. ハイブリッドモードにて、LAGポートではIPv6のフローが動作できない
8. OVSモードにて、Port queue設定が回線速度に影響を及ぼす



Pica8 Inc. 認定日本国内総代理店

お問合せは、cloud-sales@nclc.co.jp まで

エヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社



URL <http://www.nclc.co.jp/products/sdn/pica8/>